

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達さぼーとセンター るぼろ（保育所等訪問）		
○保護者評価実施期間	令和6年7月1日		～ 令和6年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9人	(回答者数) 9人
○従業者評価実施期間	令和6年9月1日		～ 令和6年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1人	(回答者数) 1人
○訪問先施設評価実施期間	令和6年7月1日		～ 令和6年9月30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	5園	(回答数) 4園
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月9日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●訪問の目標、子どもの様子を表（ステップアップ表・作業遂行表・行動分析表）にして、視覚的に確認できるようにしている。</li> <li>●口頭だけの説明ではなく、作業遂行表から子どもの行動の意味、その内に隠れている子どもの心理、そこから必要な関わりをまとめることで、何故その関わりが必要なのか、支援の意味等を保護者の方や、先生方と共有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●目標に対するステップアップ表を作成し、ゴールに向けてモールステップで目標を考えている。毎回、今の段階、目標確認、ゴールに向けて次なるステップを共有している。</li> <li>●目標は、目の前の問題点にとらわれず、ゴールのその先として、子ども、保護者、先生、みんなの望みや希望も確認するようにしている。</li> <li>●子どもの様子は、作業遂行表に落とし込み、その子の強み、支援を必要としている場面に項目を分け、そこから必要な関わりを考えている。</li> <li>●行動分析表は、初回からの訪問の様子からどのように変わってきたかをまとめている。振り返りで、必要としている場面に対して、適切な関わりを積み重ねていくことで、子どもが変わってきたことを実感できるように心がけている。</li> </ul> <p>実感することで、保護者や園、学校でいつも関わる先生方が前向きに子どもと向き合えることを意識して訪問している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●訪問後の先生との振り返りの時間を効率よく、ポイントを押さえた話し合いになるように意識して取り組んでいく。</li> </ul>

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>●現在訪問支援員が一人ということで、偏った支援になる恐れがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●知識を深めていくための研修の機会が確保できていない。</li> <li>●訪問支援員として必要な知識と助言ができる職員の育成。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童発達支援、放課後等デイサービスとも併設している利点を活かし、そこでの観察から支援方法を考える経験を積んでいく等、職員のスキルを向上させる。</li> </ul>

保育所等訪問支援事業に係る自己評価結果公表用

公表日：令和 7年 1月 23日

保護者アンケート

回答数：

9件

事業所名：こども発達さぼーとセンター るぼろ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価		保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
体制	1 職員の配置数や専門性は適切であるか	今年度8月までは、3人体制で訪問支援に従事していましたが、9月からは1人体制で訪問を行っています。	はい 9 どちらでもない 0 いいえ 0 わからない 0		1人体制ではありますが、今後も作業療法士、言語聴覚士等の専門職と話し合いながら、支援方法を考えていきます。一専門職だけの考えにとらわれないように、広い視野で考えていけるよう努めていきます。
適切な支援の提供	1 子どもと保護者のニーズや課題がしっかりと分析された上で、* 保育所等訪問支援計画が作成されているか	子どもの思いはもちろん、その課題ができることで何を子どもに伝えたいか、先生、保護者の思いも聞き取ったうえで、個別支援計画を作成しています。	はい 9 どちらでもない 0 いいえ 0 わからない 0		引き続き、子どもや保護者、先生方の思いを聞き取り、課題分析しながら、園、学校現場で実践できる支援計画を作成していきます。
	2 保育所等訪問支援計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	子どもや保護者、先生の思いを反映し、園や学校現場で先生たちが取り組める具体的な支援方法を考えるようにしています。	はい 9 どちらでもない 0 いいえ 0 わからない 0		「問題行動着目型」ではなく、「適応行動着目型」に視点を当てた支援内容を考えながら、プラスな視点で関わっていけるよう努めていきます。
	3 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われているか	目標に沿ってステップアップ表(現状・ステップ1・ステップ2・ゴール)を作成しています。今、どの段階であるかを先生、保護者の方と確認しながら、目標を意識した支援を行っています。	はい 9 どちらでもない 0 いいえ 0 わからない 0		引き続き、支援計画に沿ったステップアップ表を確認しながら、目標に沿った支援を行っています。
	4 支援内容が固定化しないよう工夫されているか	子どもの変化に応じて、支援の必要の有無を振り返りながら、変更や新たな支援方法を考えています。	はい 9 どちらでもない 0 いいえ 0 わからない 0	色んな方面から支援して下さるよう考えてくださったことが分かりました。	引き続き、子どもの変化に対応した支援内容を考えていくことに努めていきます。
	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明がなされたか	実践した支援の内容は、作業遂行表又は、行動変化表にてお伝えしています。利用者負担等の説明については、別紙の説明表を作成し、契約時に保護者の方にお渡ししています。	はい 9 どちらでもない 0 いいえ 0 わからない 0		保護者の方が納得された上で利用を開始して頂けるよう努めていきます。また現状に合わせた支援内容を資料として作成し、分かりやすくお伝えできるよう努めていきます。
	2 保育所等訪問支援計画を示しながら、支援内容の説明がなされたか	利用開始前には、保護者の方と支援計画の目標を共有した上で訪問を開始しています。抽象的な支援内容ではなく、園や学校等、大きな集団でも実践できる支援内容の説明を行うように努めています。	はい 9 どちらでもない 0 いいえ 0 わからない 0		引き続き、支援計画の目標を共有しながら、具体的で取り組みやすい支援内容をお伝えできるよう努めていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明等	3 保護者に対して家族支援が行われているか	訪問後の振り返りの中で、保護者の方と成長や今後の関わりについて共有しています。訪問支援以外の課題等には、アドバイスは行っていますが、具体的な支援までではできていません。	はい 9 どちらでもない 0 いいえ 0 わからない 0	私にも気を遣って下さり、声かけ頂いて嬉しいです。	今年度から、就学前の保護者対象に「就学前親講座」を実施しています。お子さまの成長や関わりを一緒に振り返り、まとめることで、保護者の方が具体的な関わりを学校に伝えられるようお話しています。
	4 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	必ず、訪問後は振り返り日を作り、お子さまの姿を共有したり、園や学校の先生と考えた支援方法をお話するようにしています。また、お子さまの状況や課題を伝える際には、「頑張ってる姿」「支援を必要とする場面」「姿からの支援方法」と項目を分け、資料を通して共通理解を図っています。	はい 9 どちらでもない 0 いいえ 0 わからない 0		引き続き、訪問後の振り返りの中でお子さまの姿を共有していきます。また、資料は、園や学校の先生にもお渡しし、園・家庭・訪問が共通した関わりや見方ができるように努めていきます。
	5 定期的に保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	保護者の方から相談があったときには面談の時間を設定し、個別でお話をさせていただいています。	はい 9 どちらでもない 0 いいえ 0 わからない 0	子どもの状況がとても丁寧に書かれていたので驚きました。ありがとうございます。	引き続き、相談しやすい関係を築き、安心して子育てしていけるよう丁寧な対応に努めていきます。
	6 保護者交流会等により保護者同士の連携が支援されているか	保護者会は、組織していません。施設内に児童発達支援、放課後等デイサービスと併設しているため、親講座等のご案内をお伝えするようにしています。	はい 8 どちらでもない 1 いいえ 0 わからない 0		引き続き、施設内での親講座を実施する際にはご案内しながら、保護者同士の連携が図っていけるよう努めていきます。
	7 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情についての対応の体制は「重要事項説明書」に記載しており、契約時にもお話をしています。苦情があった場合は、担当支援者や窓口(児童発達支援管理責任者)も設けており、苦情を受け付けたその日に対応できるよう努めています。	はい 4 どちらでもない 0 いいえ 0 わからない 5	苦情を言ったことがないため、分かりません。	苦情に関して必要な内容については、情報共有の観点から情報の開示を検討していきます。また、対応についても真摯に受け止め改善できるよう努めていきます。
	8 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	訪問後は、作業遂行表や行動変化表を作成し、口頭だけの説明にならないよう書面にて情報を伝達するようにしています。	はい 8 どちらでもない 0 いいえ 0 わからない 1		引き続き、書面にて説明すると共に、文字ばかりになる時は、イラストを用いて説明する等、分かりやすいお伝えの仕方に努めていきます。
	9 定期的な会報等やホームページ等で、活動概要や行事予定などについて子どもや保護者に対して発信しているか	保育所等訪問支援の概要については、ホームページにてお伝えしているが、定期的な会報等の発信はできていない。	はい 7 どちらでもない 0 いいえ 0 わからない 2		保育所等訪問支援の会報等はないが、保護者の方に必要な情報等があれば面談時にお伝えできるよう努めていきます。
	10 個人情報の取扱いに十分注意されているか	契約時に個人情報の取り扱いについて説明し、了承を得たうえで同意書にサインを頂いています。職員の意識向上にも気を付けています。	はい 8 どちらでもない 0 いいえ 0 わからない 1		引き続き個人情報の取り扱いには十分配慮していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
満足	2 事業所の支援に満足しているか	るぼろの保育所等訪問支援の内容と保護者の方のニーズが合っているか説明したうえで、利用を検討して頂いています。5月には、利用を考えておられる保護者の方向けに「るぼろの保育所等訪問支援説明会」を実施しました。	はい 9 どちらでもない 0 いいえ 0 わからない 0	サービスを利用して子どもへの理解が深まりました。一緒に考えて下さってありがとうございます。	引き続き、お子さま、保護者の方の思いと支援内容のずれがないように、一緒に振り返りながら、成長を感じて頂けるよう努めていきます。

保育所等訪問支援事業に係る自己評価結果公表用

公表日：令和 7年 1月 23日

こども園・幼稚園アンケート

回答数：

4件

事業所名：こども発達さぼーとセンター るぼろ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	こども園・幼稚園の評価		保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
体制	1 職員の配置数や専門性は適切であるか	今年度8月までは、3人体制で訪問支援に従事していましたが、9月からは1人体制で訪問を行っています。	はい 3 どちらでもない 1 いいえ 0 わからない 0	シフトによる	1人体制ではありますが、今後も作業療法士、言語聴覚士等の専門職と話し合いながら、園での支援方法を考えていきます。一専門職だけの考えにとられないように、広い視野で考えていけるよう努めていきます。
適切な支援の提供	1 子どもと保護者のニーズや課題がしっかりと分析された上で、* 保育所等訪問支援計画が作成されているか	子どもの思いはもちろん、その課題ができることで何を子どもに伝えたいか、先生、保護者の思いも聞き取ったうえで、個別支援計画を作成しています。	はい 4 どちらでもない0 いいえ 0 わからない 0		引き続き、子どもや保護者、先生方の思いを聞き取り、課題分析しながら、園、学校現場で実践できる支援計画を作成していきます。
	2 保育所等訪問支援計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	子どもや保護者、先生の思いを反映し、園や学校現場で先生たちが取り組める具体的な支援方法を考えるようにしています。	はい 4 どちらでもない0 いいえ 0 わからない 0		「問題行動着目型」ではなく、「適応行動着目型」に視点を当てた支援内容を考えながら、先生方がプラスな視点で関わっていけるよう努めていきます。
	3 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われているか	目標に沿ってステップアップ表(現状・ステップ1・ステップ2・ゴール)を作成しています。今、どの段階であるかを先生、保護者の方と確認しながら、目標を意識した支援を行っています。	はい 4 どちらでもない0 いいえ 0 わからない 0		引き続き、支援計画に沿ったステップアップ表を確認しながら、目標に沿った支援を行っています。
	4 支援内容が固定化しないよう工夫されているか	子どもの変化に応じて、支援の必要の有無を振り返りながら、変更や新たな支援方法を考えています。	はい 4 どちらでもない0 いいえ 0 わからない 0		引き続き、子どもの変化に対応した支援内容を考えていくことに努めていきます。
	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明がなされたか	実践した支援の内容は、作業遂行表又は、行動変化表にてお伝えしています。利用者負担等の説明については、別紙の説明表を作成し、契約時に保護者の方にお渡ししています。	はい 4 どちらでもない0 いいえ 0 わからない 0		保護者の方が納得された上で利用を開始して頂けるよう努めていきます。また現状に合わせた支援内容を資料として作成し、分かりやすくお伝えできるよう努めていきます。
	2 保育所等訪問支援計画を示しながら、支援内容の説明がなされたか	利用開始前には、先生方と支援計画の目標を共有した上で訪問を開始しています。抽象的な支援内容ではなく、園や学校等、大きな集団でも実践できる支援内容の説明を行うように努めています。	はい 4 どちらでもない0 いいえ 0 わからない 0		引き続き、支援計画の目標を共有しながら、先生方が具体的で取り組みやすい支援内容をお伝えできるよう努めていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	こども園・幼稚園の評価		保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明等	3 日頃から子どもの状況を伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	訪問後は振り返りをしながら、お子さまの姿を共有したり、園でできる支援方法を一緒に考えています。また、お子さまの状況や課題を伝える際には、「頑張ってる姿」「支援を必要とする場面」「姿からの支援方法」と項目を分け、資料を通して共通理解を図っています。	はい 4 どちらでもない 0 いいえ 0 わからない 0		引き続き、訪問後の振り返りの中でお子さまの姿を共有していきます。また、資料は、園の先生にもお渡しし、園・家庭・訪問が共通した関わりや見方ができるように努めていきます。
	4 子どもや保護者、担当職員からの苦情について、対応の体制を整備するとともに子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情についての対応の体制は「重要事項説明書」に記載しており、契約時にもお話をしています。苦情があった場合は、担当支援者や窓口(児童発達支援管理責任者)も設けており、苦情を受け付けたその日に対応できるよう努めています。	はい 3 どちらでもない 1 いいえ 0 わからない 0		苦情に関して必要な内容については、情報共有の観点から情報の開示を検討していきます。また、対応についても真摯に受け止め改善できるよう努めていきます。
	5 子どもや保護者、担当職員との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	一度、訪問日を口頭だけでお伝えしたため、療育日と重なってしまったことがありました。	はい 4 どちらでもない 0 いいえ 0 わからない 0		訪問日等、保護者の方への伝達には、必ず書面にてお渡しするようにしています。また、お渡しするのが難しい方は、メールにてお伝えするように努めています。
	6 個人情報の取扱いに十分注意されているか	保護者の方には契約時に個人情報の取り扱いについて説明し、了承を得たうえで同意書にサインを頂いています。職員の意識向上にも気を付けています。	はい 4 どちらでもない 0 いいえ 0 わからない 0		引き続き個人情報の取り扱いには十分配慮していきます。
満足	2 事業所の支援に満足しているか	るぼろの保育所等訪問支援の内容と保護者の方のニーズが合っているか、そして園での必要性を確認したうえで、利用を検討して頂いています。5月には、利用を考えておられる保護者の方向けに「るぼろの保育所等訪問支援説明会」を実施しました。	はい 4 どちらでもない 0 いいえ 0 わからない 0	子どもに対する支援の方向性の道標になり、感謝しています。	引き続き、お子さま、保護者の方のニーズを先生と共有しながら、園でできる支援方法を一緒に考えると共に先生が子ども達に届けたいクラス運営のお手伝いができるよう努めていきます。

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		こども発達さぼーとセンターるぼろ（保育所等訪問）		公表日		令和 7年 1月 23日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境 制 運 備 営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○		支援に必要な教材（カード・絵本・環境調整のためのグッズなど）は、クラス中で（全体でも）使えるもの・教材のアイデアから現場の先生が考えて作れることを意識して提供している。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。		○		現状、一人で対応しているが、訪問が多い月は、保護者、園、学校との振り返りも含めると、十分な支援が行えているか改善する必要がある。	
業務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		振り返りの際は、ステップアップ表を用いて、今どの段階かを訪問先と一緒に確認している。ステップを順に進みながら、ゴールに向けた取り組みを共有している。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		会議の中で保護者の意見を共有し、業務改善につなげていけるようにしている。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		会議の中で保育士の意見を確認し、こどもにとっても訪問先にとっても意義のある訪問支援につなげていけるよう意識している。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後、外部評価の機会を設け、より質の高い支援を行えるようにしていく。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		訪問支援に特化した研修は行えていないが、放課後等デイサービス、児童発達支援と一緒に、こどもへの支援について学ぶ機会を設け、そこでの知識を訪問支援の中で活かせるように意識している。		
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		こどもと保護者の願いと訪問先の願いを聞きとり、こどもの課題のみを取り上げるのではなく、プラスな視点で子どもと関わっていきような支援計画を作成している。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援計画を作成する際には、園、学校はもちろん、利用している（利用されていた）事業所の担当者にも会議に出席してもらいながら、こどもの強みに焦点を当てた検討を行っている。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		現場の先生がクラスの中でできる支援を考え、実行できることを意識して作成している。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		保育所等訪問支援計画に沿ったステップアップ表も作成し、振り返りの際には、計画に沿った支援が行えているか確認するようにしている。		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		こどもの言動から必要な支援を考える作業遂行表の作成、目標に達するまでのステップアップ表等ツールを用いて、必要な支援を検討、確認している。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		集団の中でこどものニーズを保障しながら、その子ができる方法で集団、社会に適応していけることを意識した支援内容を考えるように努めている。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		保育所等訪問支援計画に沿ったステップアップ表も作成し、振り返りの際には、計画に沿った支援が行えているか確認するようにしている。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前には、訪問先と目標に合った活動場面を確認して、訪問している。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		園や学校の都合によるが、訪問直後や後日機会を設けるなどして必ず振り返りを行い、支援の共有を行っている。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		園や学校の方針を把握してから、訪問に入っている。理念や方針を尊重し、大事にしていることを訪問の中でも大切にしながら、方針に沿った支援方法を考えるようにしている。		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		こどもの言動を書き出し、それに沿ってどんな支援が考えられるかを作業遂行表に落とし込み、支援の検証、改善を行っている。			

関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		振り返りの中で、現状の目標を共有、見直しを行っている。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		利用している児童発達支援や放課後等デイサービスの担当者も会議に参加してもらい、こどもの状況を聞き取っている。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		支援を行うに辺り、他機関との連携が必要な場合は、担当者会議を行い、現状の把握、支援目標の共有、各機関の役割を確認してから支援を行うようにしている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			現段階では、就園、就学の移行児がいないため行えてはいないが、今後、就学に向けて学校との情報共有を行う予定である。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			訪問に特化した外部研修は行えていない。必要に応じて、作業療法士・言語療法士等から助言を受け、支援内容に取り入れている。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			参加できていない。今後、必要がある場合は、積極的に参加していきたい。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			振り返りの際にこどもの状況を確認すると共に、児童発達支援や放課後等デイサービスの送迎時にも、声をかけ、園での様子や成長等を日頃から共有するようにしている。
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			就学前親講座を開催し、学校に向けての準備、関わり方を伝えている。その中で、学校への引継ぎシート等も保護者と作成している。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			利用開始前に、利用者負担、職員配置、訪問時間等、加算等に関する項目は支援計画の中に落とし込んで説明している。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○			訪問支援の内容や目的を伝えてから、支援を開始している。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			目の前の課題だけにとらわれず、こどもの強みや課題に対する願いを聞きとる機会を設けながら、プラスな視点で関わることを意識している。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			担当者会議でこども、保護者、訪問先の願いが詰まった支援計画の目標や内容をお伝えし、同意を得てから支援を開始している。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			訪問の振り返りの時間だけではなく、子育ての悩みや就学に向けての相談があれば、別に時間を設けて対応している。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			親講座等で保護者同士の交流の場を設けてはいるが、参加されている方だけの交流の場となっており、全体には広まっていない。
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			現状、訪問に対しての申し入れがないため、対応していない。今後、対応が必場な場合は、適切に対応していく。
訪問先施設への	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			保育所等訪問支援の中では、保護者の方への発信は行っていない。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			支援開始前には、「個人情報同意書」を保護者の方に説明、同意を取るようになっている。その中で、支援に必要なことは、保護者の同意を得て共有するようにしている。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			口頭だけでお伝えするのではなく、視覚的に見て分かるように、また支援内容が残るように資料を作成してお伝えするようにしている。
訪問先施設への	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○			振り返りの際に、訪問先からの相談には助言できるように努めている。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○			訪問後には、振り返りや今後の関わりについて話し合う時間を作るようになっているが、全部の園、学校に十分に時間を作れていないのが現状である。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○			訪問後には、必ず振り返りを行い、園・学校での様子、そこから必要な支援を保護者と共有している。

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		支援の必要性に応じて、園や学校で知りえた情報は、保護者の方にお伝えしてもよいかどうか確認を取るようになっている。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		問題を提起する側・支援する側・受ける側といった関係ではなく、お互いにこどもの思い、目標を叶えるためのチームとした関係づくりを大切にしている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			事業所内での、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等は作成しているが、保育所等訪問支援の中で発生を想定した訓練は行っていない。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		事業所内で安全計画を作成し、必要な研修、訓練を行うようになっている。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事業所内で、毎月、ヒヤリハット会議を開催し、方策に向けての検討を行っている。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		事業所内で虐待防止委員会を設け、職員研修の機会も確保、参加している。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		事業所内で身体拘束適正化委員会を設け、支援計画の中に記載、説明を行っているが、保育所等訪問支援においてはけいっかうに記載すべき対象者はいない。	